

2025 年 2 月 13 日

2025 年 1 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連の荷動きが堅調に推移し、前年を上回った。

巻取は学参、生損保、チラシ関連に大口案件がみられず前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 102.1% 巻取 76.9%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の受注増加により前年をやや上回った。

巻取は定期案件以外に目立った動きもなく前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 101.5% 再生上質巻取 68.3% 再生上質計 81.1%）

（前年比 印刷用紙 A 全体 97.2%）

<A2 コート>

平判は、デリバリー関連や学習塾のチラシ、インバウンド関連印刷物、展示会・イベント等で動きはあったものの、全体的に特筆すべき案件が無く、グロス、マット共にほぼ前年並みとなった。

巻取は、スーパー、量販店や不動産のチラシの動きが鈍く、カタログ、雑誌等においても落ち込みが続いており、価格修正の影響による用紙グレードダウンや判型変更、頁減、部数減の影響も大きく、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 99.4% 巻取 67.1% 全体 92.1%）

<A3 コート>

デリバリー関連、ドラッグストア等の定期的チラシ案件や展示会・イベント関連のスポット案件、カタログパンフ等で一部動きがみられたが、全体的には動きが悪く、平判は前年を上回ったが、巻取は前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 104.2% 巻取 79.5% 全体 88.1%）

<ノーカーボン紙>

平判は自治体の申請書案件で動きは見られたものの、全般的に動きは低調。

巻取は金融・生損保案件の動きが悪く、目立ったスポットもなく前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 92.3% 巻取 74.6%）

<上質フォーム>

自治体の納付書案件で動きが出てきたことに加え、スポットで選挙案件も一部動いたこともあり、前年を上回った。

（前年比 101.1%）

<包装用紙>

特殊両更は4年に一度の政府系調査の封筒の案件が有り、昨年を大きく上回ったが、その他は動きが低調で軒並み昨年を下回った。

純白ロールは昨年在低調であった為に上回ってはいるが、平均値以下の数量に留まった。

軽包装は製本会社向けの雑包装用途の動きが鈍く、昨年を大幅に下回った。

包装紙全体では88.4%と昨年を下回った。

(前年比 88.4%)

<板紙>

コートボールは年明けからの動きが鈍く、引き続き物価高騰の影響もあり低調であったが、昨年在悪かったため前年を上回った。

特板は一部什器関係や菓子箱で動きはあったが、化粧品関連で中国向け、国内向けとも振るわず低調であった。

チップボールは出版用途、エンタメ系用途が減少、コストダウンの影響から厚物の貼合品から単紙や他の紙への切り替えもあり重量も減少した。車等の部品も輸送箱用途も低調であった。

全体では昨年在悪かったため、前年を上回った。

(前年比 102.9%)